2024年1～5類全数届出感染症患者届出数（三重県）

分類	分類別通し番号	疾患名	備考	第12週	第13週	第14週	第15週	第16週	計	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
2	2	結核		6	5	3	5	6	58	255	218	193	171	175
3	2	細菌性赤痢								1			4	
	3	腸管出血性大腸菌感染症							3	49	35	37	52	57
	4	腸チフス											1	1
4	1	E型肝炎							2	3	10	5	1	1
	3	A型肝炎					1		1	3			2	
	15	重症熱性血小板減少症候群								5		3	9	4
	20	チクングニア熱								1				
	21	つつが虫病								4	9	4	7	5
	22	デング熱								2				3
	26	日本紅斑熱						1	1	42	61	56	51	68
	31	ブルセラ症									1			
	42	レジオネラ症							4	27	29	23	34	28
	43	レプトスピラ症										1		1
5	1	アメーバ赤痢							2	13	7	5	7	2
	2	ウイルス性肝炎（A型及びE型を除く）								3	2		2	1
	3	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		1				1	7	38	24	16	24	33
	4	急性弛緩性麻痺								1			1	4
	5	急性脳炎							1	7	14	6	9	3
	7	クロイツフェルト・ヤコブ病								1		3	1	1
	8	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				2			11	13	13	10	6	18
	9	後天性免疫不全症候群							1	8	9	6	5	2
	10	ジアルジア症								1	1	1		
	11	侵襲性インフルエンザ菌感染症							3	11	1	1	6	7
	12	侵襲性髄膜炎菌感染症								2				
	13	侵襲性肺炎球菌感染症		2		1	1		12	43	20	20	26	23
	14	水痘（入院例）							1	6	5	4	2	4
	16	梅毒		1		2	5	1	23	77	43	71	92	114
	17	播種性クリプトコックス症								4	6	4	3	3
	18	破傷風									1		3	1
	20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症								1	1			
	21	百日咳								295	17	2		4
	22	風しん								20	4		1	
	23	麻しん								55				

＊急性脳炎：ｳｴｽﾄﾅｲﾙ脳炎、西部ｳﾏ脳炎、ﾀﾞﾆ媒介性脳炎、東部ｳﾏ脳炎、日本脳炎、ﾍﾞﾈｽﾞｴﾗｳﾏ脳炎及びﾘﾌﾄﾊﾞﾚｰ熱を除く。

＊重症熱性血小板減少症候群：病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

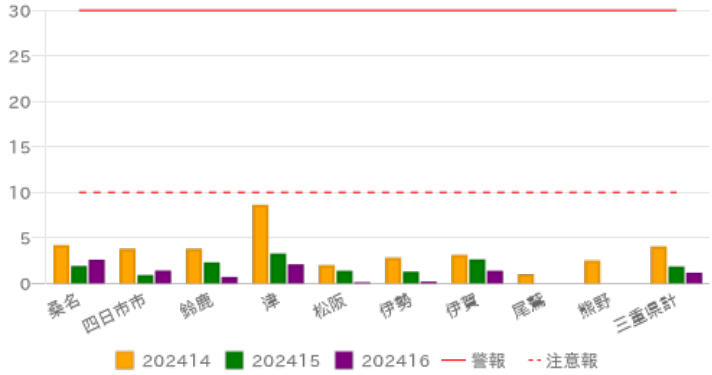
定点あたり保健所管内別患者報告数		桑名	四日市市	鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	尾鷲	熊野	三重県	先週	先週比
定点数	インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症	10	10	10	11	8	11	8	2	2	72	定点あたり報告数	
	小児科（含独自）	6	7	6	7	5	7	5	1	1	45		
	眼　　科	1	2	1	2	1	2	1	1	1	12		
	基　　幹	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9		
内科・小児科	インフルエンザ	2.60	1.40	0.70	2.09	0.13	0.18	1.38			1.17	1.85	0.63
	新型コロナウイルス感染症	5.10	2.10	1.90	3.00	2.00	2.36	2.75	4.00		2.72	3.35	0.81
小児科	咽頭結膜熱	0.33	0.43	0.33	0.14		4.57	0.80	1.00		1.00	0.62	1.61
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.67	3.71	13.33	5.00	1.20	5.29	0.40	6.00		4.89	3.73	1.31
	感染性胃腸炎	2.50	3.00	7.50	8.43	5.00	5.43	5.40	7.00	13.00	5.56	5.73	0.97
	水痘						0.43	0.20	1.00		0.11	0.09	1.25
	手足口病			0.67	1.14	0.20	2.29	0.40			0.69	0.42	1.63
	伝染性紅斑											0.02	---
	突発性発しん	0.33	0.14	0.17		0.20	0.29	0.40	2.00		0.24	0.16	1.57
	ヘルパンギーナ			0.17			0.14				0.04	0.11	0.40
	流行性耳下腺炎											0.02	---
	RSウイルス感染症	2.83	2.00	8.17	7.57	0.40	1.29	0.80			3.29	2.20	1.49
独自	マイコプラズマ肺炎			0.50	0.14						0.09	0.02	4.00
	クラミジア肺炎												---
眼科	急性出血性結膜炎												---
	流行性角結膜炎							2.00			0.17	0.08	2.00
基幹	感染性胃腸炎（ロタウイルス）												---
	細菌性髄膜炎									1.00	0.11		---
	無菌性髄膜炎												---
	マイコプラズマ肺炎												---
	クラミジア肺炎												---

年齢階級別患者報告数		≦6M	≦12M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80≦
内科・小児科	インフルエンザ			1	5	4	10	3	8	7	6	8	19	4	2	2	3	1		1	
	新型コロナウイルス感染症		2	9	5	3	1	2	2	8	2	4	21	12	16	14	18	21	23	16	17
小児科	咽頭結膜熱		1	3	6	7	14	7	1	3	1	1	1								
	A群溶レン菌咽頭炎	1	1	10	23	17	25	30	22	24	25	7	22	3	10						
	感染性胃腸炎	2	10	41	20	35	26	23	16	23	15	12	19		8						
	水痘									1		1	2		1						
	手足口病		5	11	5	5	1	1	1	1			1								
	伝染性紅斑																				
	突発性発しん		3	5	1	2															
	ヘルパンギーナ		2																		
	流行性耳下腺炎																				
	RSウイルス感染症*	10	17	67	26	15	8	3	1				1								
独自	マイコプラズマ肺炎**			1					1		1		1								
	クラミジア肺炎**																				
眼科	急性出血性結膜炎																				
	流行性角結膜炎								1							1					

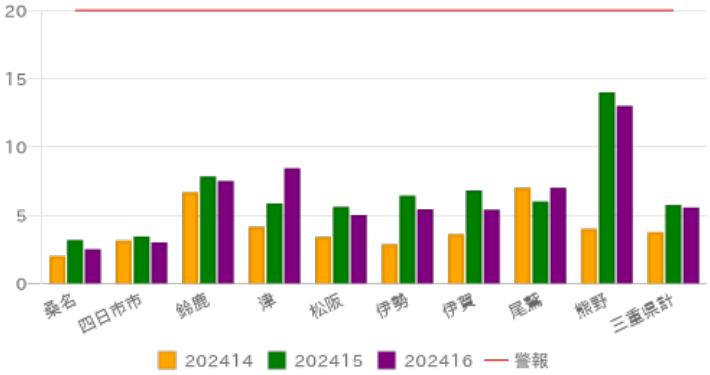
疾患名		≦12M	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70≦
基幹	感染性胃腸炎（ロタ）																
	細菌性髄膜炎	1															
	無菌性髄膜炎																
	マイコプラズマ肺炎																
	クラミジア肺炎																

※1)咽頭結膜熱～クラミジア肺炎（独自）は、20歳以上をまとめて20～29歳の欄に表示している。
※2)急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎は、70歳以上をまとめて70～79歳の欄に表示している。
＊RSウイルス感染症は、2003年11月5日から全国一律に小児科定点把握対象疾患に指定された。
＊＊三重県独自の小児科定点把握対象疾患

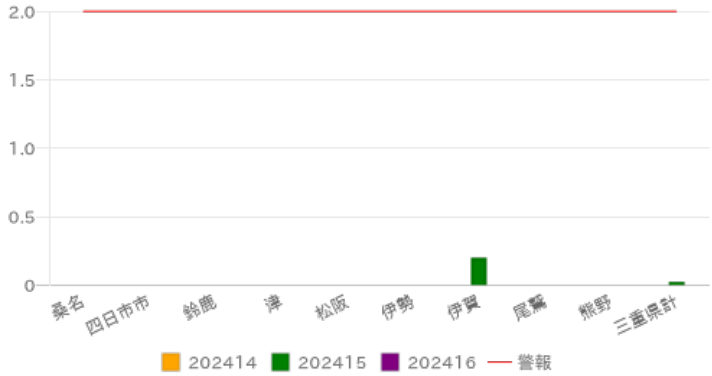
警報・注意報：感染症流行に対する警報・注意報システムにおける基準値



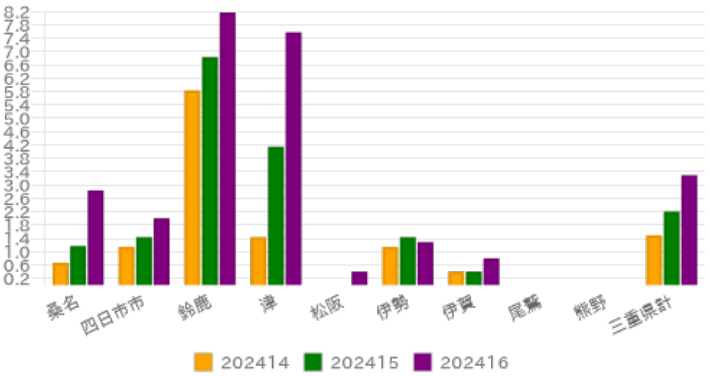
インフルエンザ定点当たり届出数



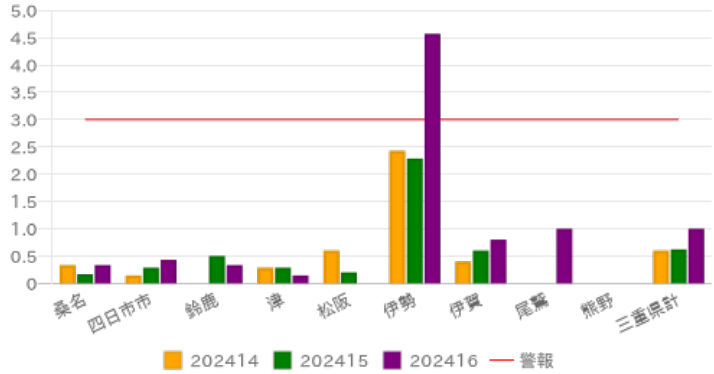
感染性胃腸炎定点当たり届出数



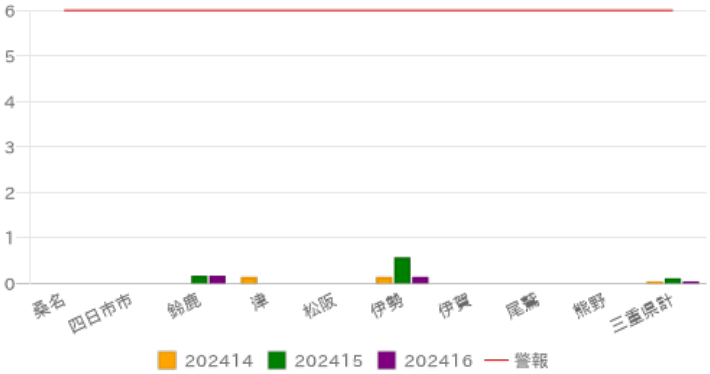
伝染性紅斑定点当たり届出数



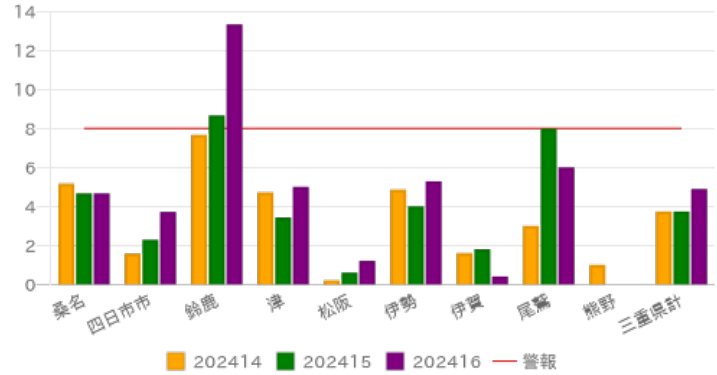
RSウイルス感染症定点当たり届出数



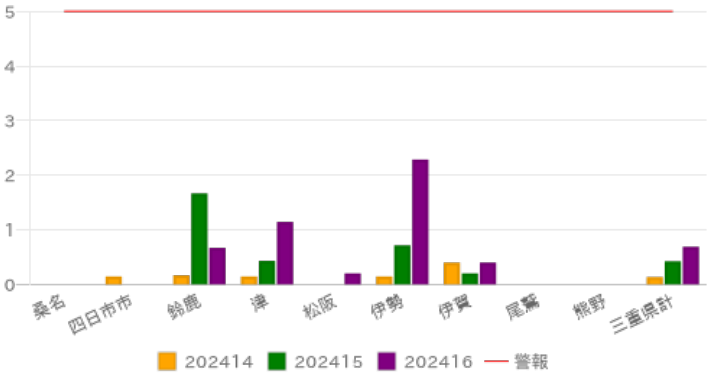
咽頭結膜熱定点当たり届出数



ヘルパンギーナ定点当たり届出数



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎定点当たり届出数



手足口病定点当たり届出数

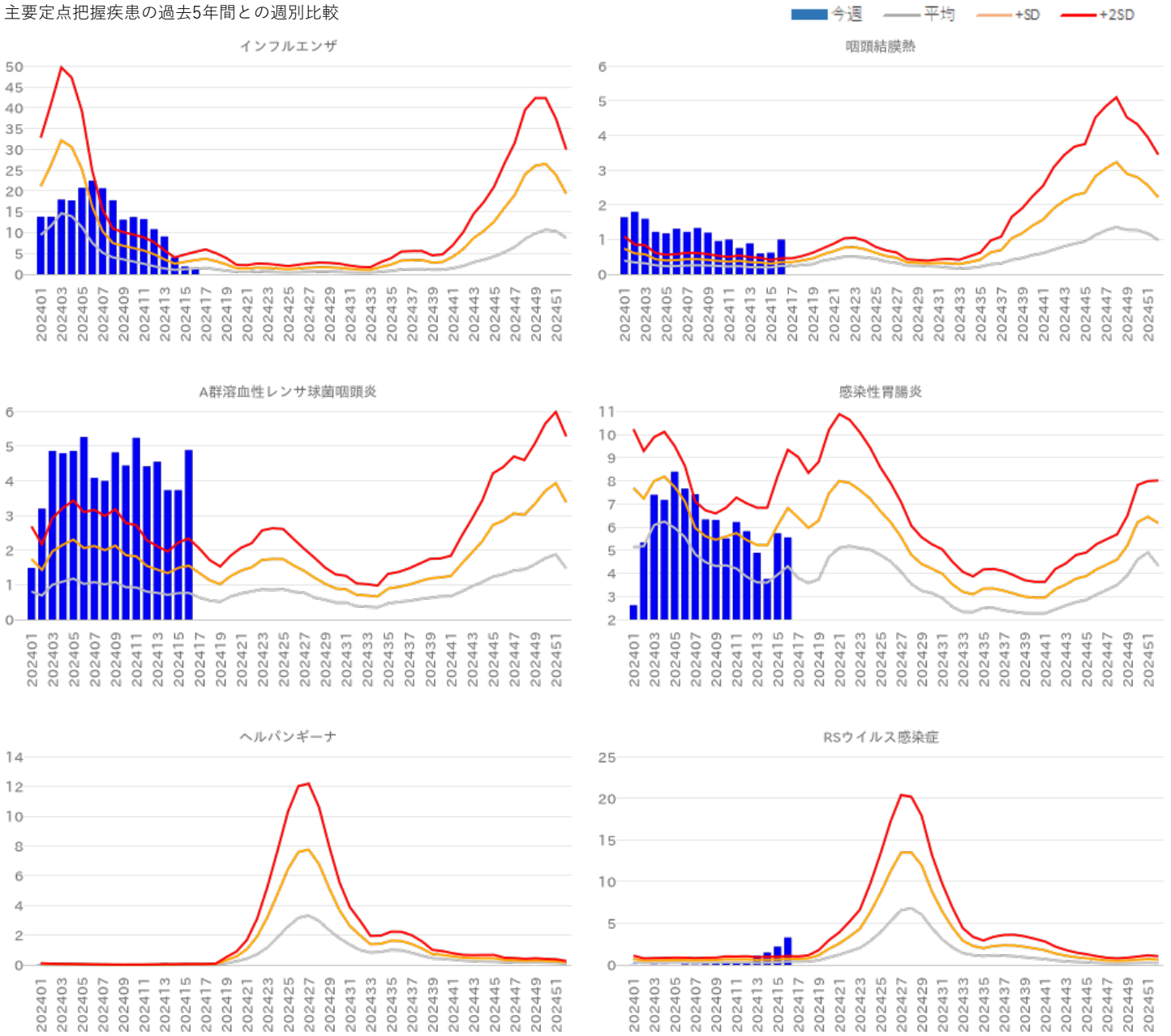
IDWR Mie

三重県感染症発生動向調査（2024年第16週 04月15日(月)～04月21日(日)）

Infectious Diseases Weekly Report

三重県感染症情報センター

主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較



感染症発生動向調査指定届出機関からのコメント

＜桑　名＞

小児科	・ノロウイルス性胃腸炎が5例（1歳男1例、同女2例、7歳女、10歳女各1例）ありました。 ・ヒトメタニューモウイルス感染症が1例（5歳男）ありました。
インフルエンザ	・インフルエンザが5例あり、2例は迅速診断キットA陽性、1例は同B陽性、2例はインフルエンザAみなし陽性でした。

＜鈴　鹿＞

小児科	・RSウイルス感染症は陽性が24例あり、乳幼児の発熱、咳嗽主訴の児の陽性が今週も多くみられます。亀山市内3保育園でのブレークアウトがみられ、未就園児の陽性も6例あり、市内外ともRSの流行期に入っていると思われます。 ・感染性胃腸炎は、小学生を中心に下痢症状より嘔吐主訴の児の来院が目立ちます。 ・ノロウイルス感染症が1例（5歳女）ありました。 ・喘鳴主訴来院時にパラインフルエンザ３型が同定された児が2例（10ヶ月、1歳）あり、RS以外も亀山市内に入ってきているようです。hMPはみられません。
インフルエンザ	・COVID-19が2例（小学2年、4年）あり、先週も同じ学童に通学している児で陽性があり、学童での感染が疑われます。

＜伊　勢＞

小児科	・アデノウイルス感染症5例、溶連菌感染症が10例ありました。 ・RSウイルス感染症4例、ヒトメタニューモウイルス感染症が2例ありました。 ・水痘ワクチン定期2回接種の1例（9歳女）の皮疹より、水痘抗原陽性となりました。皮疹数は10個未満で感染源は不明でした。
インフルエンザ	・インフルエンザウイルス感染症はありませんでした。 ・新型コロナウイルス感染症は3例でした。

＜伊　賀＞

インフルエンザ	・インフルエンザB型、コロナとも、まだ散発しているようです。

＜尾　鷲＞

小児科	・咽頭結膜熱1例、溶連菌感染症6例、感染性胃腸炎7例、水痘1例（14歳男：ワクチン接種歴なし）、突発性発しんが2例（7ヶ月男、1歳9ヶ月女）ありました。
インフルエンザ	・コロナが3例あり、ハイリスク者2例にラゲブリオを処方しました。